

はればれ
児童発達支援 事業所自己評価

公表: 2022年 3月 15日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		難しいところもありますが、できるだけ利用しやすいように心がけています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの活動に合わせた空間になっているか	○			療育の後に床や使ったものなどを消毒しています。常に換気を行うなど、気持ちよく使っていただけるように配慮しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			職員みんなで話し合っています。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	今のところ予定はありませんが、考えていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			療育の方法や子どもの理解など、事業所内で研修を行ったり、外部の研修を促したりしている。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			発達検査の結果、保護者のニーズなどを聞きながら考えています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		今後検討していきたいと思っています。
	12	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			保育士が中心になって立案を行い、みんなで検討しています。
	13	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			子どもたちが楽しめるように工夫しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			お子さんの様子によって適宜組み合わせています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			その日の準備物や子どもの動きについて、確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			療育終了後、お子さんの様子や変化について話し合っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			療育の活動ごとに記録を行い、記録をもとに指導の計画を立てている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			定期的(約6か月ごと)にモニタリングを実施し、支援計画を見直しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	○			子どもの自己肯定感が高まるように工夫しています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者からの依頼があった場合には行っています。
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		保護者からの依頼があった場合には行っています。
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて行っています。
	24	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		療育の終わりに時間をとってその日の活動について説明をしています。
	25	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		ペアレント・トレーニングは行っていませんが、育児で心配なことがあったときはお子さんに応じたアドバイスをしています。
保護者への説明責任等	26	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っています。
	27	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて、個別に子どもへの対応についてお話ししています。
	28	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	コロナのために今年度はできませんでしたが、行ってきたいと思います。
	29	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		これまで保護者からの苦情はありませんが、窓口を設けて伝えやすくしています。
	30	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	月間の予定をお知らせしています。
	31	個人情報に十分注意している	○		個人情報は保護者の了解なしに外部に知らせることはありませんが、関係機関との連携の時には保護者の了解のもと共有することがあります。
非常時等の対応	32	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		毎回、取り組んだ内容をお知らせしています。
	33	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	作成していますが、事業所内に置いてあるため、保護者に自由に読んで
	34	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的実施しています。
	35	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットの事例があったときは、職員で確認しています。